

2023年4月

近畿ブロック各府県社会福祉士会  
会員のみなさま

公益社団法人 大阪社会福祉士会  
第31回近畿ブロック研究・研修大阪大会運営委員会

2023年度公益社団法人 日本社会福祉士会  
第31回 近畿ブロック研究・研修大阪大会  
研究・実践発表の募集について

日本社会福祉士会近畿ブロックでは、毎年「近畿ブロック研究・研修大会」を開催しております。新型コロナウイルス感染症の影響を受け昨年度まではオンライン開催でしたが、今年度については大阪にて対面での開催を計画しております。

つきましては大会当日の研究・実践発表について会員のみなさまより募集いたします。別添の研究・実践発表申込要項をご覧くださいの上、奮ってエントリーをお願いいたします。

記

- \*大会開催日： 2024年2月10日（土）・11日（日）
- \*会場： 大阪府社会福祉会館（大阪市中央区）
- \*大会テーマ：「ええやん、社会福祉士って！多文化共生社会における実践とつながり」
- \*研究・実践発表締切： 2023年9月30日（土）（必着）

研究・実践発表の詳細については、別添資料をご覧ください。

大会全体のご案内につきましては、後日お知らせいたします。  
また、大阪社会福祉士会ホームページでも掲載いたします。

以上

第 31 回 近畿ブロック研究・研修 大阪大会 研究・実践発表申込要項

発表資格	<p>公益社団法人日本社会福祉士会に属する近畿ブロック社会福祉士会会員に限ります。会員以外の方との共同研究の場合、発表要旨に共同研究者名を記すことはできますが、発表者は会員に限ります。</p> <p>共同研究者には非会員が入ることができます。ただし、発表者と共同研究者の人数を合わせた中で、非会員が半数を超えることはできません。</p> <p>※研究・実践発表採用者は、近畿ブロック研究・研修大阪大会の参加申込が必要です。</p>
申込数	<p>一人一発表です。</p> <p>・すでに他学会等で発表したものと同一内容の発表はご遠慮願います（都道府県社会福祉士会における学会等での発表は除きます）。</p>
申込様式	<p>以下の 1～4 申込書及び様式を揃えて提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究・実践発表申込書</li> <li>2. 個人・共同研究・実践発表原稿 様式①</li> <li>3. 個人・共同研究・実践発表原稿（A 4・2 枚）様式②</li> <li>4. 近畿ブロック大会研究・実践発表申込 自己チェックリスト 様式③</li> </ol>
申込先	<p>〒542-0012                  大阪市中央区谷町七丁目 4 番 15 号 大阪府社会福祉会館内（1 階）                  公益社団法人 大阪社会福祉士会                  第 31 回 近畿ブロック研究・研修大阪大会事務局                  e-mail：ya5-ofuku@oacsw.or.jp ※e-mail は、必ず受取の返信を確認ください。</p>
締切	<p>研究・実践発表申込書 及び 個人・共同研究・実践発表原稿 様式①、個人・共同研究・実践発表原稿（A 4・2 枚）様式②（A または B）、近畿ブロック大会研究・実践発表申込 自己チェックリスト様式③を 2023 年 9 月 30 日（土）必着でメール送信してください。</p>
発表原稿作成上の注意	<p>【発表原稿作成時の留意点】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 提出された原稿はそのまま版下として印刷しますので、必ずワードで作成した鮮明なものをお送りください。</li> <li>2. 原稿は A 4 版横書き、2 枚で作成してください。</li> <li>3. 文体は「である調」で作成してください。</li> <li>4. 謝辞は、不要です。</li> <li>5. 字数等は自由としますが、<u>上下左右の余白を 25 ミリ以上空けてください</u>。</li> <li>6. 共同研究者が都道府県社会福祉士会の会員の場合は、氏名、会員番号、所属する都道府県士会名を記載してください。会員外の場合は、氏名と所属先名称を記載してください。職名の記載は不要です。</li> <li>7. 「倫理的配慮」は必ず明記してください。</li> <li>8. 査読の結果、修正をお願いすることもありますので、ご了承ください。</li> <li>9. 原稿などは、一切返却できません。</li> <li>10. 発表時は会場に来場していただきます。感染症や体調不良等により来場できない場合は不参加の取り扱いとなります。またオンラインでの発表はできかねます。図表・写真等をデータやイメージ資料として使用したい場合はレジュメに入れていただくか、印刷して当日資料としてご準備いただくこととなります（製版可能な水準で用意ください）。</li> </ol>

審査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込数・内容等を勘案・審査した上、採否を決定し、締切日以降、申込者に個別に通知する予定です。なお、選考にあたり査読委員会による査読があります。</li> <li>・採用にあたっては、実践にもとづく発表を優先することがあります。</li> <li>・内容等については、大会運営委員会が助言する場合があります。</li> <li>・採用数が定数に満たない場合、追加募集をすることがあります。</li> </ul>
採用	<p>採用数：9 発表程度（審査の結果、採用予定数に満たない場合もあります。）</p> <hr/> <p>採用通知期日：2023 年 11 月上旬</p>
様式②	<p>採用された方は、修正コメントに基づいて様式②（発表原稿）を修正してください。提出された様式②はそのまま版下（視聴者用ダウンロード資料）として使用しますので、必ずワードで作成した鮮明な原稿を提出してください。</p> <p>※申し込まれた発表について、査読者より修正コメントがあり、ご自身でうまく修正ができない場合は、各府県士会事務局にお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●提出先：第 31 回 近畿ブロック研究・研修 大阪大会 事務局 （申し込み時に提出済みの「個人研究・実践発表原稿様式①、様式③」の再度の提出は不要）</li> <li>●提出期日：2023 年 11 月 30 日（木） 必着</li> <li>●提出方法：申し込み同様、メール添付にて提出してください。</li> </ul> <p>※期日までに提出のない場合、採用を取り消し、発表を認めないことがあります。</p>
発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発表時間：20 分、質疑応答 10 分</li> <li>●機材：パソコン、プロジェクターのみ可能</li> <li>●資料：当日配布する資料がある場合は各自で 90 部ご用意ください。</li> </ul> <p style="text-align: center;">※近畿ブロック大会会場での印刷はできません。また大会運営委員会でのコピー対応はいたしませんのでご容赦ください。</p>
その他	<p>※申込者の個人情報の取り扱いについて 申し込み時に記入いただいた個人情報は、大会運営に必要な範囲において使用します。</p> <p>また、発表者氏名、所属（府県士会）、発表テーマについては大会参加者の便宜のため、大阪社会福祉士会ホームページ等で公開します。</p>



個人研究・実践発表原稿 様式①

氏名： 所属：( ) 社会福祉士会 会員番号：

発表分類 <input type="checkbox"/> 研究（研究方法： <input type="checkbox"/> 文献研究 <input type="checkbox"/> 実証研究 <input type="checkbox"/> 量的研究 <input type="checkbox"/> 質的研究 <input type="checkbox"/> 実践研究） ※研究方法について上記から該当するものを選び、チェックしてください。（複数可）
発表テーマ
発表希望分科会（1つ選択） <input type="checkbox"/> 「権利擁護」 <input type="checkbox"/> 「生活構造」 <input type="checkbox"/> 「相談援助」 <input type="checkbox"/> 「地域支援」 <input type="checkbox"/> 「福祉経営」 <input type="checkbox"/> 「実践研究」
（分科会選択の理由）※発表内容は、別紙：発表要旨原稿に記入してください。
同様のテーマでの発表履歴： なし・あり →以下記入 原則、同一の内容を他学会等で発表したものは受け付けられません。ただし、都道府県社会福祉士会またはブロックにおける発表についてはこの限りではありません。 ①発表年月、②大会名など、③タイトルを記入（発表者名は記入しない）
共同研究者： なし・あり→（ ）名（共同研究者名は記入しない）
近畿ブロック大阪大会運営委員会への連絡及び問い合わせ事項： なし・あり→以下記入

※枠内には発表者及び共同研究者の氏名を記入しないでください

## 個人研究・実践発表原稿 様式②

- ・《》の箇所には、《》内の内容を記載した後、※.《》内及び《》そのものは削除する。
- ・（）内には、そこに書かれてある内容を記載し、（）そのものも残す。
- ・本文は明朝体細字 **10.5pt** で記載する。

《タイトル：ゴシック体》

《サブタイトル＝ゴシック体》

《一行空き》

○《発表者の氏名》（所属先）《府県名》社会福祉士会（会員番号）

《共同研究者氏名》（会員番号・所属社会福祉士会）、《共同研究者氏名》（会員番号・所属社会福祉士会）、《共同研究者氏名》（会員番号・所属社会福祉士会）

### I. 研究目的

《この研究はどのように社会に貢献するか、意義があるかなど、研究目的を記述》

### II. 研究方法

《「研究目的」をどのような手順で明らかにするかを記述》

### III. 倫理的配慮

《必ず明記する》

### IV. 結果

《調査（アンケート、インタビューなど）の結果、または、事例等を記述》

### V. 考察

《「IV. 結果」(または、支援経過)を受けて、なぜそのような調査研究結果になったかの考察を記述》

## VI. 結論

参考文献：

※おおむね以上のような構成として、必要に応じて見出しを工夫してください。

※日本社会福祉士会『研究誌』を参考にして記述してください。最新号をご確認ください。

近畿ブロック大会 研究・実践発表申込 自己チェックリスト 様式 ③

発表者の氏名 ( ) 所属府県名 ( ) 社会福祉士会 会員番号 ( )

※必ず下記の項目について確認し、レ点を入れて、自己チェックをしてください。  
(チェックがないものについては申し込みを受け付けられませんので、ご了承ください)

倫 理

- 1 対象者の安全及び人権の擁護、特に研究に関する知る権利、自己決定の権利に対する配慮ができています。
- 2 個人情報や秘密の保持、写真の使用などプライバシーに配慮ができています。
- 3 対象者に行った倫理的配慮を明記しています。
- 4 日本社会福祉士会研究倫理規程、正会員に所属する社会福祉士が実践研究等において事例を取り扱う際のガイドライン、研究倫理ガイドライン、論文等の投稿に関するガイドラインに反していない。

構 成

- 1 原稿の冒頭には、タイトル、サブタイトル (任意)、発表者氏名・所属先・所属社会福祉士会・会員番号、共同研究者の氏名・会員番号・所属社会福祉士会が記載されている。
- 2 本文は、研究目的、研究方法、論理的配慮、結果、考察、結論 (報告は、目的、論理的配慮、実践の紹介、考察) を見出しに使用しながら、もしくはこれらを意識しながら構成されている。

研究・実践発表原稿記載様式

- 1 研究方法の分類が選択されている。
- 2 発表希望分科会が選択されている。
- 3 原稿はA4版横書き、2枚で作成されている。
- 4 ワードで作成されている。
- 5 発表者氏名の前に「○」をつけてある。
- 6 余白は、上下左右を25ミリ以上としている。
- 7 フォントは明朝体細字10.5ptで作成されている。
- 8 文体は「である調」で作成されている。

発表原稿以外の発表資料の有無

- 有 ・  無